

# 水道事業会計

## 1 事業の実績

### (1) 業務概括

本年度は、前年度同様、安定的に事業を継続していくために、老朽化した配水管や浄水施設機器の更新、水道施設耐震化などを実施している。水道料金収入の面では、主に家庭で使用される小口径の料金収入は、猛暑などによる高止まり傾向が見られる一方、店舗・病院等の大口需要者からの料金収入は減少傾向が続いている。

施設及び業務実績は、次表のとおりである。

| 区 分                         | 令和3年度      | 令和2年度      | 増 減 数    | 増減率 (%) |
|-----------------------------|------------|------------|----------|---------|
| 給水区域内人口 (人) A               | 284,681    | 286,425    | △1,744   | △0.6    |
| 計画給水人口 (人)                  | 286,700    | 286,700    | 0        | 0       |
| 現在給水人口 (人) B                | 274,772    | 275,929    | △1,157   | △0.4    |
| 普及率 (%) B/A                 | 96.5       | 96.3       | 0.2      |         |
| 導送配水管延長 (m)                 | 1,406,275  | 1,393,022  | 13,253   | 1.0     |
| 職員数 (人)                     | 76         | 73         | 3        | 4.1     |
| ※( )内は短時間勤務職員数で外数           | (4)        | (5)        | (△1)     |         |
| 総給水量 (m <sup>3</sup> )      | 27,730,126 | 28,089,099 | △358,973 | △1.3    |
| 給水能力 (m <sup>3</sup> /日) C  | 146,790    | 146,000    | 790      | 0.5     |
| 1日平均給水量 (m <sup>3</sup> ) D | 75,973     | 76,956     | △983     | △1.3    |
| 1日最大給水量 (m <sup>3</sup> ) E | 82,237     | 88,021     | △5,784   | △6.6    |
| 施設利用率 (%) D/C               | 51.8       | 52.7       | △0.9     |         |
| 最大稼働率 (%) E/C               | 56.0       | 60.3       | △4.3     |         |
| 負荷率 (%) D/E                 | 92.4       | 87.4       | 5.0      |         |

### (2) 給水人口及び普及率等の主な増減の内容

給水区域内人口及び現在給水人口は、前年度に比べ減少している。

普及率は、給水区域内人口における現在給水人口の割合が増加したため、前年度より0.2ポイント上昇して96.5%となった。

### (3) 水道施設の利用状況について

施設利用率は、施設の平均的な稼働状況を示すものである。給水能力が、前年度より0.5ポイント上昇し、1日平均給水量が減少したことで低下している。

最大稼働率は1日給水量が最大のときの施設の利用率を示す指標であり、これも低下した。

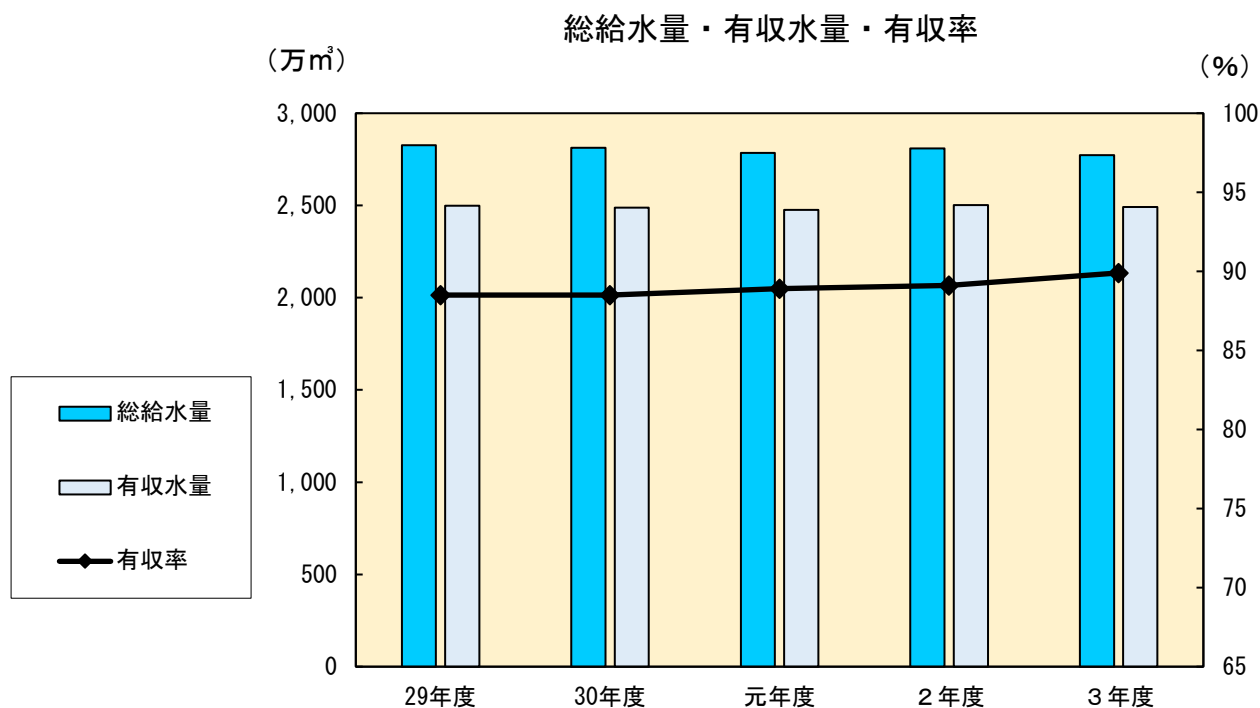
負荷率は、施設の効率を示す指標であり、1日最大給水量に対する1日平均給水量の比である。1日平均給水量の減少以上に1日最大給水量が減少した結果、5.0ポイント上昇した。

(4) 総給水量、有収水量及び有収率の主な増減の内容

総給水量は、前年度比 358,973 m<sup>3</sup>の減少となっている。主な要因は、小口径の使用量減少と、配水管からの漏水などの無効水量の減少 (506,990 m<sup>3</sup>) である。

総給水量に対する有収水量の比率である有収率は、89.9%と前年度より上昇している。

なお、総給水量、有収水量及び有収率の推移は、次表のとおりである。



(単位：m<sup>3</sup>・%)

| 区 分       | 平成 29 年度   | 平成 30 年度   | 令和元年度      | 令和2年度      | 令和3年度      |            |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総給水量 A    | 28,255,582 | 28,122,187 | 27,852,680 | 28,089,099 | 27,730,126 |            |
| 有効<br>水量  | 有収水量 B     | 24,994,619 | 24,893,343 | 24,761,182 | 25,024,237 | 24,919,327 |
|           | 無収水量       | 1,306,061  | 1,267,874  | 1,378,175  | 1,321,829  | 1,574,756  |
| 無効水量      | 1,954,902  | 1,961,067  | 1,713,323  | 1,743,033  | 1,236,043  |            |
| 有 収 率 B/A | 88.5       | 88.5       | 88.9       | 89.1       | 89.9       |            |